

2000—2001 年度研究会体制

〈会長〉山内 章（やまうち あきら） 1956 年 8 月 12 日生 名古屋大学大学院生命農学研究科
TEL:052-789-4022, FAX:052-789-5558, E-mail: ayama@agr.nagoya-u.ac.jp

私の所信は、立候補させていただいたときに書きました（8巻3号 p.87）。

〈副会長〉大門 弘幸（だいもん ひろゆき） 1956 年 5 月 8 日生 大阪府立大学農学部
TEL/FAX:0722-54-9407, E-mail:daimon@plant.osakafu-u.ac.jp

さらに2年間、会長と事務局長のお手伝いをお引き受けすることになりました。根の国際シンポを来年にひかえ、活力あふれる研究会で臨みたいと思っています。宜しく願ひいたします。

〈事務局長〉矢野 勝也（やの かつや） 1967 年 6 月 10 日生 名古屋大学大学院生命農学研究科
TEL: 052-789-4024, FAX: 052-789-5558, E-mail: kyano@agr.nagoya-u.ac.jp

過去2年間の事務局業務を振り返ると恥ずかしい限りですが、誰でもできる事務局を目指して、今後も努力したいと思います。お気づきの点がありましたら、遠慮なく仰っていただければ有り難いと思います。

〈評議員〉阿部 淳（あべ じゅん） 1962 年 3 月 30 日生 東京大学大学院農学生命科学研究科
TEL:03-5841-5465, FAX:03-5841-5070, E-mail:abejun@cup.com

陸稲を中心に根系分布を制御することを目指して研究をしています。 http://www.ab.a.u-tokyo.ac.jp/cem/abe_j.htm

〈評議員〉平野 繁（ひらの しげる） 1959 年 9 月 12 日生 東京農業大学農学部農学科
TEL:046-270-6518, FAX:046-270-6226（学科事務室）, E-mail: s-hirano@nodai.ac.jp

有機物施与による土壌物理性の変化と根の生育・活性との関係を明らかにしたいと思っています。

〈評議員〉本間 知夫（ほんま ともお） 1962 年 5 月 6 日生 農林水産省野菜・茶業試験場茶栽培部
TEL: 0547-45-4654, FAX: 0547-46-2169, E-mail: homma@tea.affrc.go.jp

植物（チャ等）の根系及び樹体機能評価法について、工学的な視点・アプローチで迫っていきたいと思います。農学の方にはない独自のネットワークを駆使し、研究会発展のためにお役に立てるよう頑張っていきたいと思っています。よろしく願ひ申し上げます。

〈評議員〉一井 眞比古（いちい まさひこ） 1945 年 3 月 31 日生 香川大学農学部 Tel & Fax:
087-891-3127, E-mail: ichii@mail.ag.kagawa-u.ac.jp

イネ根の形態と機能に関する突然変異体を活用して根の形態形成や生理機能を遺伝学的に解析し、根機能の遺伝的改良を通して作物生産性の向上をめざす。

〈評議員〉伊藤 治（いとう おさむ） 1950 年 7 月 23 日生 〒305-8686 茨城県つくば市大わし1-2
農林水産省 国際農林水産業研究センター Tel: 0298-38-6348, Fax: 0298-38-6342, E-mail:
osamuito@jircas.affrc.go.jp

専門は作物栄養ですが、最近では、作付け体系の中での作物根系からみた養分挙動などに興味を持っています。根との関わりは圃場レベルでの根系の展開といった観点からのため、用いる手法も粗っぽく土方作業的なものが大部分です。これまでインドの乾燥地やフィリピンの水田で穴掘り作業をしてきました。根の研究会の今後の発展のために何かお役に立てれば本望です。

〈評議員〉岩間 和人（いわま かずと） 1950 年 12 月 13 日生 北海道大学大学院農学研究科
TEL:011-706-3877, FAX:011-706-3878, E-mail:iwama@agr.hokudai.ac.jp

バレイショの根系に関する研究をかれこれ四半世紀続けています。最近のトピックは、交配後の遺伝的な分離集団から、既存品種に比べ根量が2倍程度の系統を選抜し、乾燥抵抗性の付与を確認したこと、またこの3月に博士号をとる大学院生の柏木君が行った根量の育種法に関する研究です。今年からはコムギの根についても手をだす予定です。この3月までは日本作物学会の庶務幹事をしていましたので、根の研究会はほとんどご無沙汰の状態です。来年の秋には根の国際学会もあることですので、是非参加させていただきたいと思っています。

〈評議員〉飯嶋 盛雄（いいじま もりお） 1961 年 2 月 10 日生 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院生命農学研究科 Tel : 052-789-4020, Fax : 052-789-5558, E-mail:
mijima@agr.nagoya-u.ac.jp

最近の興味は、Root Border Cell と呼ばれる脱落した生きた根冠細胞です。彼らは、土壌と根のはざままで何をしているのかということを考えていると楽しくなるのですが、研究は遅々として進まないというところ です。

〈評議員〉唐原 一郎（からはら いちろう） 1966 年 10 月 2 日生 富山大学理学部生物学科 TEL:
076-445-6630, FAX: 076-445-6641, E-mail:karahara@sci.toyama-u.ac.jp

昨年の山内会長の言葉にもありましたが、研究会も2001年ではや満10才とのこと。発足時、森田前会長の呼びかけを雑誌で拝見したとき、その斬新さ（マニアックさ？）に受けた「え、そんな会ありますか？」という印象が、いつのまにか「ないのがおかしい」というものに変っていました。その間、私などまさに根のように吸収させて頂く一方でしたが、おかげさまで大変勉強させて頂きました。ところで、バーチャル根研究所。これまた「え、そんなのありますか？」という、いつかと同じ

状況に、ということとは 10 年後には当たり前のものになっていることでしょうか。私たち国立大学の置かれた世紀末の状況の中で、夢を与えてくれる、新世紀にふさわしい企画に期待します。

〈評議員〉小葉田 亨 (こばた とおる) 1952 年 9 月 11 日生 島根大学生物資源科学部農業生産学科 TEL: 0852 32-6505, FAX: 0852 32-6537, E-MAIL: kobata@life.shimane-u.ac.jp

土壌環境に適応した根の分布が生産コストをかけずに作物生産を高めるために有効であると考え、そういうことを実験的に示そうとしている。

〈評議員〉鯨 幸夫 (鯨 ゆきお) 1949 年 9 月 29 日生 金沢大学教育学部 TEL: 076-264-5479, 5475, Fax: 076-264-5614, E-mail: kujira@ed.kanazawa-u.ac.jp

イネとムギに関する根系研究を通して、根の視点から多収と生態系農業をドッキングさせることを考えています。よろしくをお願いします。

〈評議員〉森田 茂紀 (もりた しげのり) 1954 年 1 月 30 日生 東京大学大学院農学生命科学研究科 TEL: 03-5841-5465, FAX: 03-5841-5070, E-mail: anatomy@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

イネ科作物の根系形成を発育形態学的な視点から研究してきました。最近では、根系の構造と機能を関連付けて考察する目的で、出液速度を利用して根系の機能を評価しようとしています。従来は水稻を取り扱う機会が多かったのですが、何回か乾燥地域を経験する機会があり、畑作物も対象として取り込んでいきたいと考えています。研究会の運営に関連しましては、2001年に開催予定の第6回国際根研究学会シンポジウムを日本発信型・組織委員参加型のシンポジウムとして成功させることと、会長とともに構想している「バーチャル根研究機構」を早期に試行開始することが当面の目標です。

〈評議員〉中野 明正 (なかの あきまさ) 1968 年 1 月 27 日生 野菜・茶業試験場 施設生産部 TEL: 0569-72-1647, FAX: 0569-73-4744, E-mail: anakano@nivot-pc.affrc.go.jp

野菜栽培の特に施設生産の根圏環境を研究しています。野菜の根に関する研究は、現場においても様々なニーズがありますが、明確な研究対象となっている例は少ないように思います。野菜分野の根の研究も米や麦レベルに引き上げる必要性を感じています。県の農業試験場などとも共同研究を行い、農業現場にフィードバックできる根の研究をやっていきたくと思っています。根に関する現場の問題事例なども「根の研究」で取り上げていけたらと考えています。

〈評議員〉中谷 誠 (なかたに まこと) 1959 年 1 月 21 日生 農林水産省九州農業試験場畑地利用部遺伝資源利用研究室 TEL: 0986-22-1506, FAX: 0986-23-1168, E-mail: mnakatan@mykz.affrc.go.jp

サツマイモの塊根というちょっと特殊な根の研究をしています。

〈評議員〉大江 真道 (おおえまさみち) 1967 年 3 月 22 日生 大阪府立大学農学部 TEL/FAX 0722-54-9407, E-mail: ohe@plant.osakafu-u.ac.jp

灌漑水のかげひきによる水稻の生育制御についての研究を行っています。評議員という大役を前回に引き続き仰せつかりましたが、会の益々の発展のためにがんばりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

〈評議員〉大橋 瑞江 (おおはし みずえ) 1970 年 6 月 20 日生 宮崎大学農学部 TEL: 092-642-2874, FAX: 092-642-2874, E-mail: mizue@agr.kyushu-u.ac.jp

土壌から発生する二酸化炭素、すなわち土壌呼吸の研究をしています。さらに土壌呼吸発生の一因である根の呼吸についても勉強しています。

〈評議員〉小柳 敦史 (おやなぎ あつし) 1960 年 5 月 18 日生 農業研究センター TEL: 0298-38-8869, FAX: 0298-38-8870, E-mail: oyanagi@narc.affrc.go.jp

コムギの耐湿性や品質の向上を目標に仕事をしています。根を掘る時のワクワクする気持ちを研究会の皆さんと共有したいと思います。

〈評議員〉谷本 英一 (たにもと えいいち) 1944 年 1 月 27 日生 〒467-0042 名古屋市瑞穂区瑞穂町 名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科(2000 年 4 月新設)・生体制御情報, TEL: 052-872-5865(直), FAX: 052-882-3075, E-mail: tanimoto@nsc.nagoya-cu.ac.jp

植物学会、植物生理学会、植物化学調節学会、国際植物生長物質連合、宇宙生物学会、生物教育学会などに所属、主に植物学会と植物生理学会で研究発表を行っています。研究分野は生長生理学で植物ホルモンによる根の生長生理学、特に生長に伴う細胞壁の役割を中心に研究しています。現在、根の細胞壁多糖類の化学分析と、細胞壁の力学的性質をクリープ粘弾性解析法で解析しています。材料は、エンドウ、イネ、コムギなどの根です。生理条件、環境条件の変動とこれらの細胞壁の性質の相関関係から成長を規制する細胞壁の動的な姿を捕らえようというわけです。本研究会での研究交流を通じて、圃場や自然界での多彩な生長制御現象を学び、実験室内でのモデル研究のヒント・題材を得たいと期待しています。根・生長制御・ホルモン・細胞壁のキーワードで皆様と研究交流を深めたいと思います。

〈評議員〉巽 二郎 (たつみ じろう) 1948 年 2 月 14 日生 名古屋大学大学院生命農学研究科 TEL: 052-789-4019, FAX: 052-789-5558, E-mail: jtat@agr.nagoya-u.ac.jp

最近では日曜農園にはまっています。土を掘り返すたびに作物の根が気になるので思ったほど作業はかどりません。今年から不耕起栽培を取り入れて能率を上げる計画です。宜しくをお願いします。

〈評議員〉辻 博之（つじ ひろゆき） 1966年1月30日生 北海道農業試験場 畑作研究センター TEL:0155-62-9274, FAX:0155-61-2127, E-mail: tuzihiro@mnr.affrc.go.jp

一昨年より北海道に移ってまいりました。大規模畑作生産・耕地管理技術について研究を進めるにあたり、根とその周辺環境を一つの切り口にして、なにができるのか模索している段階です。根研究会を通して根に関する知見を広めるとともに、北海道農業の現場における根関連の問題について情報発信していきたいと思っております。宜しくお願いします。

〈評議員〉山口 淳二（やまぐち じゅんじ） 1956年6月23日生 名古屋大学生物分子応答研究センター TEL: 052-789-5219, FAX: 052-789-5226, E-mail: jiyama@agr.nagoya-u.ac.jp

今回はじめて評議員に加わらせていただきました。会員になって間もないのですが、宜しくお願い申し上げます。私は、イネを用いて糖代謝、糖シグナリング、糖輸送の研究やジベレリンによる草丈制御に関する研究を行ってきました。ただ、最近では、特にイネの根の形態形成や窒素源の輸送に興味を持ち研究を進めています。主に種子で培ってきた物質輸送やシグナル伝達のノウハウを今後は根で活かしていきたいと考えています。

〈評議員〉山下 正隆（やました まさたか） 1948年11月2日生 九州農業試験場畑地利用部 TEL:096-242-1150, FAX:096-249-1002, E-mail: my898@knaes.affrc.go.jp

1999年4月から総合研究部併任で熊本県西合志に勤務しています。現在はカンショの根系形成、カンショ根からの不定器官形成に関する仕事を少しずつ進めております。最近では、だんだん雑用の割合が高くなってきて研究時間の確保に苦勞します。このところ農業分野でも速効性のある成果が求められますが、本当に役立つ技術は、作物の基本的な生理生態を踏まえた上でこそ可能です。本研究会が根に関する地道な研究の強い味方となるよう、力を尽くしたいと思います。

根研究会会則

- 第1条 本会は、根研究会（Japanese Society for Root Research, JSRR）と称する。
- 第2条 本会は、植物の根（その他の地下器官を含む、以下同様）およびこれを取り巻く環境に関する学術を発展させるとともに、同学の士の親睦を深めることを目的とする。
- 第3条 本会は、第2条で規定した目的を達成するために、つぎの事業を行なう。
1. 研究集会・シンポジウムその他の会合の開催
 2. 会誌の刊行
 3. 根研究会賞の授与
 4. 国際交流の推進
 5. その他、本会の目的を達成するために必要な事業
- 第4条 本会の会員は、個人会員および団体会員とする。個人会員は本会の趣旨に賛同して入会した個人、団体会員は同じく本会の趣旨に賛同して入会した団体または機関とする。
- 第5条 本会に入会しようとする場合は、氏名、所属、連絡先、その他の必要事項を明記した文書に、会費を添えて本会に申し込むものとする。また、本会を退会しようとする場合は、その旨を文書で本会に連絡しなければならない。
- 第6条 会員は、下記の年会費を前納しなければならない。1. 個人会員 3000円、2. 団体会員 8000円。ただし、1月をもって年度の始まりとする。長期に渡り会費を滞納した場合は、退会扱いにすることがある。
- 第7条 本会に、つぎの役員をおく。会長1名、副会長2名、監査1名、評議員若干名、事務局長1名。
- 第8条 会長は、その他の役員と協議しながら会務を統括し、本会を代表する。副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときや長期に渡り不在となる場合に、その代理を務める。監査は、会務を監査する。評議員は、重要な会務を審議し、執行する。
- 第9条 会長は個人会員の投票により、個人会員の中から選出する。選出方法の詳細は別に、これを定める。副会長、監査、評議員および事務局長は、個人会員の中から会長が委嘱する。
- 第10条 役員任期は、2年とする。会長、副会長、監査は連続して5年以上は重任できない。
- 第11条 第3条で規定した事業を遂行するために、重要な事業については、それぞれ委員（および委員長）をおく。委員（および委員長）は、会長が委嘱する。